



宮城県地域共生社会推進会議

趣旨説明  

令和4年2月9日（水）

事務局：宮城県社会福祉協議会

なぜ今「地域共生社会」か

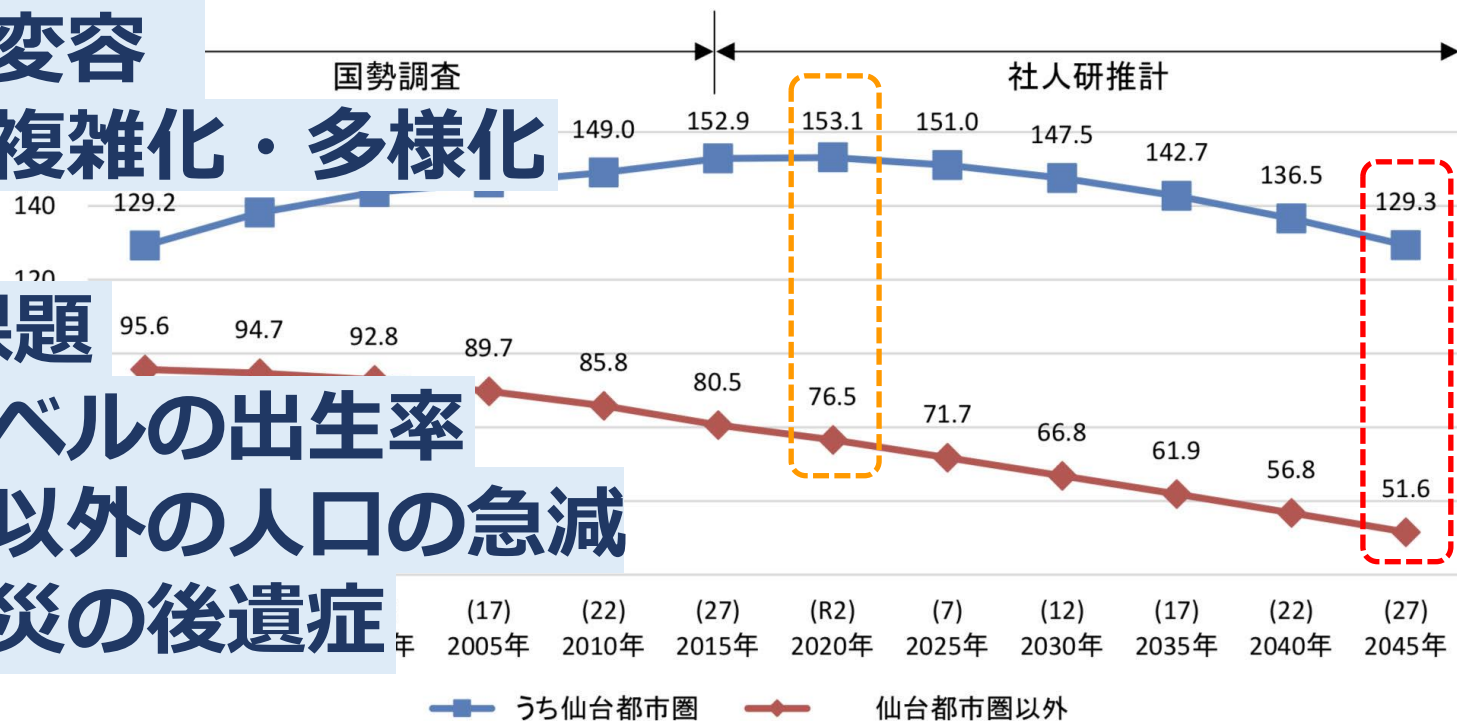
～ポスト2025年を見据え2040年問題へシフト～

■ 人口構造と社会構造の変化

- 高齢化の中での現役世代の減少
- 地域社会の変容
- 福祉課題の複雑化・多様化

■ 宮城県の課題

- ワーストレベルの出生率
- 仙台都市圏以外の人口の急減
- 東日本大震災の後遺症
- etc.



出典：「日本の地域別将来推計人口（平成30年3月推計）」（国立社会保障・人口問題研究所）
仙台都市圏と仙台都市圏以外の将来の人口

「地域共生社会」の目指す姿

厚生労働省資料より

◆制度・分野ごとの『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が『我が事』として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて『丸ごと』つながることで、**住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会**



農林



環境



産業



交通

.....

地域共生社会実現に向けた動き

- 平成28年6月
ニッポン一億総活躍プラン
「地域共生社会の実現」が盛り込まれる

- 平成30年4月
改正社会福祉法施行
市町村の包括的支援体制の整備を規定

- 令和3年4月
改正社会福祉法施行
第四条「地域福祉の推進は、地域住民が…共生する地域社会の実現を目指して行われなければならない。」

重層的支援体制整備事業を規定

地域共生社会

全世代・全対象型
地域包括支援

地域包括ケア

障害者自立支援

生活困窮者自立支援

子ども子育て支援

宮城県における位置づけ

新・宮城の将来ビジョン (令和2年12月策定)



政策推進の基本方向3
誰もが安心していきいきと暮らせる地域社会づくり

宮城県地域福祉支援計画 (令和3年3月策定)



基本理念

すべての県民が共に支えあい、安心していきいきと暮らせる地域社会の形成

宮城県の背景と今後の展開

■ 県計画と各種計画の連携



■ 被災者支援（宮城方式）の普遍化・深化



宮城県地域包括ケア推進協議会

■ 地域包括ケアシステムを土台とした多面的・包括的な関わり

宮城県地域共生社会推進会議の役割

地域共生社会実現に向けた関係団体のプラットフォーム

宮城県地域共生社会推進会議

地域の実態把握

個別取組の支援

機運醸成

活動紹介

情報交換

県社協・
市町村社協

行政（県・
市町村）

福祉関係
団体

「みやぎで暮らし,ともに生き,最後はここでよかった」 ~お互い様が当たり前の社会を目指して~



【宮城県地域共生社会推進会議】